

発行者 観点	2・東書	17・教出	38・光村	116・日文	224・学研	232・廣あかつき	233・日科
取扱内容 学習指導要領の総則及 び各教科の 目標、内容 等	○ 主として自分自身に関することのうち「向上心、個性の伸長」について						
	〈第1学年〉 ・短所と長所を 中にあること 活かすことが が大切なこと いた文章を して、自分の 所がどのよう とするかにつ 考える活動 分の性格が大	〈第1学年〉 ・イチロー選手 ・コメントなど 小さな積み重 の大切さを文 を書かたよさ を自分のよさ ばし夢に近付 ために大切な とは、どのよ なことなのか 考える活動 進化できる	〈第1学年〉 ・百人一首が 主人公が、時 を掛けてきた 付けた時、心 情を描いた物 を教材として 分よさを伸ば すために大切 ことは何か いて考える活 動 「カメは自分 を知っていた	〈第1学年〉 ・トマトもメロ もそれぞれの を一杯生きた をいっさいの を自分のよさ かして生きて ことが大切 ことについて 活動 「トマトとメロ	〈第1学年〉 ・イチロー選手 足跡や言葉に いて取上げた 文章、イチャ 手持の力を支 のが何かを考 えて通して、 自分を長所 についで考 える活動 「イチローの軌跡	〈第1学年〉 ・脚本家の道に き詰まっていた 主人公が、父 の励ましを受け た勇気をつけ 書かれた文章 が作り上げた 「よさ」は何 について考 える活動 「木箱の中	〈第1学年〉 ・自分に言い聞 かせると、トッ プ選手であり 続ける車いす 選手に文章を 教材として、 個性を伸ばし 実生活を送る ことについて 考える活動 「おれは最強だ
	○ 主として人との関わりに関することのうち「思いやり、感謝」について						
〈第2学年〉 ・看護師が、入 患者と目を合 わせること 切であったこ 気付いた物語 描いた物語 材として、相 手の心に寄り 添い、何を心 掛けてあげ ける活動 「心に寄り	〈第2学年〉 ・電車で席を譲 ることができ なかった中、 互いに笑顔 2つの物語 材として、思 やりの気持ち 表現を考 える活動 「譲る気	〈第2学年〉 ・見知らぬ人に けられたこと けられた人の たくさんにな った漫画を 教材として、 人への感謝 や思いやり 考える活 動 「気づか	〈第2学年〉 ・店の明かりが 帰りの遅い のためであった ことと店員 流す物語 材として、立 場を立つこと 思いやりに 考える活 動 「夜の屋	〈第2学年〉 ・交通事故に遭 った学校を休 んでいた主人 公が、協力を してもらった 旗を教 材として、思 いやり 考える活 動 「旗	〈第2学年〉 ・すでに亡くな った親を送 った手紙の心 情を思い、届 けたい手紙を 描いた物語 を教材として、 思いやり 考える活 動 「地	〈第2学年〉 ・92歳で詩を 始めた人 多くなると 気付いた 教材とし て、日々 の生活に 感謝する ことにつ いて考 える活 動 「百歳の詩人	
○ 主として集団や社会との関わりに関することのうち「家族愛、家庭生活の充実」について							
〈第3学年〉 ・進路について 親に話すこと できなかった 人公が、家を れる前日に、 父の励まし 葉を教材とし て、家族が互 いを思いやる ことにつ いて考 える活 動 「背筋をのば	〈第3学年〉 ・歌う道徳講師 の歌詞を聞き 中学生が母 と重ねて涙す ることにつ いて文章を 教材として、 感謝の気持ち を大切にする ことにつ いて考 える活 動 「デー	〈第3学年〉 ・世界の様々な 文化によ って家族の 捉え方が 異なる部 分がある ことにつ いて文 章を教材とし て、家族 とはどのよ うなものを 考 える活 動 「家族	〈第3学年〉 ・物忘れが目 立った祖母 ようになっ た祖母の 日記を 読み、対 した家族 の思いを 思いや りに考 える活 動 「一冊	〈第3学年〉 ・物忘れが目 立った祖母 ようになっ た祖母の 日記を 読み、対 した家族 の思いを 思いや りに考 える活 動 「一冊	〈第3学年〉 ・父親の職業 への抱いて いた主人公 が、父の思 いに震 えた物語 を教材とし て、家族 員の愛に 応えたい ことにつ いて考 える活 動 「ス	〈第3学年〉 ・難病により 視力を失 った息子 に対して、 レッスン により立 派な人 になった ことにつ いて文 章を教材 として、 「視力を なくさ ない」と 答える ことにつ いて考 える活 動 「迷わ	

発行者	2・東書	17・教出	38・光村	116・日文	224・学研	232・廣あかつき	233・日科
観点	<p>○ 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関するもののうち「生命の尊さ」について</p>						
	<p>〈第1学年〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 骨髄バンクを設立した人々の組織について、文章として切実さや実感が返り、生命のかけがえについて活動（「決断！骨髄バンク移植第一号」） 	<p>〈第1学年〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 末期ケアを行う医療施設で、患者のケアを行った文章を、「よき切な活動（「よく死ぬこと」）」 	<p>〈第1学年〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 余命を過した老い、家族や医師の取組、文章として、生と死について活動（「最後の贈り物」） 	<p>〈第1学年〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 死を待つ人々の瞬間も、活動（「あふれる愛」） 	<p>〈第1学年〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の子どもに向かっている中、生を待たせたい、会話を描く思い（「あなた」） 	<p>〈第1学年〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 赤ちゃんが生まれたとき、「産声」など、「赤きょうとすまを生まれてきや、今、こころをきこうとする力」） 	<p>〈第1学年〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 主人公の祖母の幼少の姿、真実の思い、物語性（「過去のメッセージ」）
内容の構成・排列・分量等	<p>○ 言語活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> 考えを深めるための話し合いの手順を示す「話し合いの手引き」を配置（全学年） 						
	<p>○ 問題解決的な学習について</p> <ul style="list-style-type: none"> 道徳的な問題の解決に向けて話し合うことができる教材を配置 	<p>○ 問題解決的な学習について</p> <ul style="list-style-type: none"> 道徳的な問題の解決に向けて話し合うことができる教材を配置 	<p>○ 問題解決的な学習について</p> <ul style="list-style-type: none"> 道徳的な問題の解決に向けて話し合うことができる教材を配置 	<p>○ 問題解決的な学習について</p> <ul style="list-style-type: none"> 道徳的な問題の解決に向けて話し合うことができる教材を配置 	<p>○ 問題解決的な学習について</p> <ul style="list-style-type: none"> 道徳的な問題の解決に向けて話し合うことができる教材を配置 	<p>○ 問題解決的な学習について</p> <ul style="list-style-type: none"> 道徳的な問題の解決に向けて話し合うことができる教材を配置 	<p>○ 問題解決的な学習について</p> <ul style="list-style-type: none"> 道徳的な問題の解決に向けて話し合うことができる教材を配置
	<p>○ 体験的な学習について</p> <ul style="list-style-type: none"> 役割演技による学習を示す「アクション」を配置 						
	<p>○ 内容項目ごと及び全体の分量について（A：主として自分自身に関するもの、B：主として人との関わりに関するもの、C：主として集団や社会との関わりに関するもの、D：主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関するもの、E：複数の内容項目が含まれている教材等）</p> <p>・第1学年 Aは36ページ Bは30ページ Cは67ページ Dは40ページ Eは16ページ 総ページ数189ページ 前回より4%増</p>	<p>○ 内容項目ごと及び全体の分量について（A：主として自分自身に関するもの、B：主として人との関わりに関するもの、C：主として集団や社会との関わりに関するもの、D：主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関するもの、E：複数の内容項目が含まれている教材等）</p> <p>・第1学年 Aは43ページ Bは41ページ Cは71ページ Dは40ページ Eは13ページ 総ページ数208ページ 前回より7%増</p>	<p>○ 内容項目ごと及び全体の分量について（A：主として自分自身に関するもの、B：主として人との関わりに関するもの、C：主として集団や社会との関わりに関するもの、D：主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関するもの、E：複数の内容項目が含まれている教材等）</p> <p>・第1学年 Aは30ページ Bは42ページ Cは59ページ Dは33ページ Eは20ページ 総ページ数184ページ 前回より18%減</p>	<p>○ 内容項目ごと及び全体の分量について（A：主として自分自身に関するもの、B：主として人との関わりに関するもの、C：主として集団や社会との関わりに関するもの、D：主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関するもの、E：複数の内容項目が含まれている教材等）</p> <p>・第1学年 Aは37ページ Bは41ページ Cは78ページ Dは41ページ Eは34ページ 総ページ数231ページ 前回と増減なし</p>	<p>○ 内容項目ごと及び全体の分量について（A：主として自分自身に関するもの、B：主として人との関わりに関するもの、C：主として集団や社会との関わりに関するもの、D：主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関するもの、E：複数の内容項目が含まれている教材等）</p> <p>・第1学年 Aは36ページ Bは34ページ Cは60ページ Dは32ページ Eは21ページ 総ページ数183ページ 前回より2%増</p>	<p>○ 内容項目ごと及び全体の分量について（A：主として自分自身に関するもの、B：主として人との関わりに関するもの、C：主として集団や社会との関わりに関するもの、D：主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関するもの、E：複数の内容項目が含まれている教材等）</p> <p>・第1学年 Aは43ページ Bは39ページ Cは51ページ Dは39ページ Eは52ページ 総ページ数224ページ 前回より6%減</p>	<p>○ 内容項目ごと及び全体の分量について（A：主として自分自身に関するもの、B：主として人との関わりに関するもの、C：主として集団や社会との関わりに関するもの、D：主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関するもの、E：複数の内容項目が含まれている教材等）</p> <p>・第1学年 Aは28ページ Bは33ページ Cは78ページ Dは25ページ Eは28ページ 総ページ数192ページ 前回と増減なし</p>

発行者	2・東書	17・教出	38・光村	116・日文	224・学研	232・廣あかつき	233・日科
観点	<ul style="list-style-type: none"> 第2学年 Aは30ページ Bは37ページ Cは72ページ Dは45ページ Eは13ページ 総ページ数 197 前回より4%増 第3学年 Aは35ページ Bは33ページ Cは78ページ Dは38ページ Eは13ページ 総ページ数 197 前回より4%増 	<ul style="list-style-type: none"> 第2学年 Aは33ページ Bは33ページ Cは92ページ Dは21ページ Eは13ページ 総ページ数 192 前回より8%増 第3学年 Aは23ページ Bは30ページ Cは89ページ Dは37ページ Eは13ページ 総ページ数 192 前回より8%増 	<ul style="list-style-type: none"> 第2学年 Aは43ページ Bは34ページ Cは62ページ Dは33ページ Eは20ページ 総ページ数 192 前回より14%減 第3学年 Aは41ページ Bは30ページ Cは65ページ Dは30ページ Eは26ページ 総ページ数 192 前回より17%減 	<ul style="list-style-type: none"> 第2学年 Aは32ページ Bは39ページ Cは81ページ Dは43ページ Eは36ページ 総ページ数 231 前回と増減なし 第3学年 Aは31ページ Bは34ページ Cは96ページ Dは39ページ Eは31ページ 総ページ数 231 前回と増減なし 	<ul style="list-style-type: none"> 第2学年 Aは44ページ Bは32ページ Cは60ページ Dは38ページ Eは21ページ 総ページ数 195 前回より6%増 第3学年 Aは38ページ Bは38ページ Cは60ページ Dは36ページ Eは23ページ 総ページ数 195 前回より6%増 	<ul style="list-style-type: none"> 第2学年 Aは32ページ Bは28ページ Cは61ページ Dは29ページ Eは58ページ 総ページ数 208 前回より6%減 第3学年 Aは34ページ Bは23ページ Cは58ページ Dは31ページ Eは58ページ 総ページ数 204 ページ 前回より6%減 	<ul style="list-style-type: none"> 第2学年 Aは28ページ Bは36ページ Cは67ページ Dは32ページ Eは29ページ 総ページ数 192 ページ 前回と増減なし 第3学年 Aは33ページ Bは32ページ Cは66ページ Dは38ページ Eは23ページ 総ページ数 192 ページ 前回と増減なし
使用上の配慮等	○ 学習意欲を高める工夫						
	<ul style="list-style-type: none"> 学期ごとに学習したことを振り返ることができる「自分の学びをふり返ろう」を配置 	<ul style="list-style-type: none"> 教材ごとに記入する「道徳の学びを記録しよう」や学期末に記入する「道徳の学びを振り返ろう」を配置 	<ul style="list-style-type: none"> 教材ごとに記入する「学びの記録」や1年間の学びを振り返る「道徳の学びを振り返ろう」を配置 	<ul style="list-style-type: none"> 印象に残った学習とその理由を記入する「道徳科で学んだことを振り返ってみよう」を別冊に配置 	<ul style="list-style-type: none"> 自分を見つめる「マイプロフィール」や心の成長を振り返る「心の四季」を配置 	<ul style="list-style-type: none"> 心に残った教材やその理由を記入する「心に残っている授業の記録」を配置 	<ul style="list-style-type: none"> 学年末に記入する「〇年生の心の成長を振り返りましょう」を配置
	○ 主体的に学習に取り組む工夫						
	<ul style="list-style-type: none"> オリエンテーションで道徳科の基本的な学習の流れを示す「道徳の授業はこんな時間に」を配置 	<ul style="list-style-type: none"> オリエンテーションで道徳科の基本的な学習の流れを示す「道徳科で学びを深めるために」を配置 	<ul style="list-style-type: none"> 教材ごとに多面的・多角的に考えを広げたり、深めたりする、ためてを示す「てびき」を配置 	<ul style="list-style-type: none"> オリエンテーションで道徳科の基本的な学習の流れを示す「道徳科で学ぶこと」や「道徳科での学び方」を配置 	<ul style="list-style-type: none"> オリエンテーションで道徳科の基本的な学習の流れを示す「考える四つのステップ」を配置 	<ul style="list-style-type: none"> 教材ごとに考えを広げたり、深めたりする、ための学習の流れを示す「考える・話し合う」を配置 	<ul style="list-style-type: none"> オリエンテーションで道徳科の基本的な学習の流れを示す「道徳科って何を学ぶの？」を配置
	○ 使用上の便宜						
	<ul style="list-style-type: none"> 全ての生徒が学習しやすいようカラーユニバーサルデザインに配慮 	<ul style="list-style-type: none"> 全ての生徒が学習しやすいようカラーユニバーサルデザインに配慮 	<ul style="list-style-type: none"> 全ての生徒が学習しやすいようカラーユニバーサルデザインに配慮 	<ul style="list-style-type: none"> 全ての生徒が学習しやすいようカラーユニバーサルデザインに配慮 	<ul style="list-style-type: none"> 全ての生徒が学習しやすいようカラーユニバーサルデザインに配慮 	<ul style="list-style-type: none"> 全ての生徒が学習しやすいようカラーユニバーサルデザインに配慮 	<ul style="list-style-type: none"> 多面的・多角的な学習に向けてカラーユニバーサルデザインを示すページを配置
指導上の配慮等	○ 地域素材						
	<ul style="list-style-type: none"> 植松努氏のロケットによる宇宙開発（第1学年）や、霧多布での地域医療（第2学年）などが取り扱われている 	<ul style="list-style-type: none"> 旭川にゆかりのある女流作家である三浦綾子（第2学年）や、アイヌ民族（第3学年）などが取り扱われている 	<ul style="list-style-type: none"> 旭川大学大学院「君の椅子」プロジェクト（第3学年）や、アイヌ文化伝承（第2学年）などが取り扱われている 	<ul style="list-style-type: none"> えりも町の砂漠化した故郷の再生（第2学年）や、小樽郵便局での後悔と自責の念（第2学年）などが取り扱われている 	<ul style="list-style-type: none"> アズリートの高梨沙羅のたゆまぬ努力（第2学年）や、植松努の宇宙開発（第3学年）などが取り扱われている 	<ul style="list-style-type: none"> 釧路湿原野生生物保護センター（第2学年）や、えりも町の砂漠化した故郷の再生（第3学年）などが取り扱われている 	<ul style="list-style-type: none"> サハリンの幼児の北海道での治療（第2学年）や、小樽郵便局での後悔と自責の念（第2学年）などが取り扱われている

発行者 観点	2・東書	17・教出	38・光村	116・日文	224・学研	232・廣あかつき	233・日科
	<p>○ ICTの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> QRコード及び「D（デジタル）マーク」が示され、関連する動画や画像、解説資料などが活用できるように工夫されている 	<ul style="list-style-type: none"> QRコード及び「まなびリンク」マークが示され、情報活用できる外部ページへのリンクが掲載されている 	<ul style="list-style-type: none"> デジタルコンテンツを活用できる教材としており、朗読や動画などが活用できるように工夫されている 	<ul style="list-style-type: none"> QRコード及びインターネットへリンクする「マーク」が示され、動画や画像及びクイズなどが活用できるように工夫されている 	<ul style="list-style-type: none"> QRコード及び「QRコードマーク」が示され、関連する画像や動画などの補助教材が活用できるように工夫されている 	<ul style="list-style-type: none"> QRコード及び「インターネット」マークが示され、画像・動画・外部ページへのリンクが掲載されている 	<ul style="list-style-type: none"> ICTの活用については記載されていない
	<p>○ 小中連携による指導</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学校道徳科で扱った教材を再掲載するとともに、将来の進路や職業を選択するきっかけとなる教材を掲載する巻末に配慮されている 	<ul style="list-style-type: none"> 第1学年の1～10までの教材は文字を大きくするとともに、第1学年の最初の教材を生命の誕生を内容にするなど配慮されている 	<ul style="list-style-type: none"> 小学校で考えたこと、中学生になつて考えたことなどを比べ、自分の成長を確かめられるよう、小学校道徳科で扱った教材を再掲載されている 	<ul style="list-style-type: none"> 第1学年では自己理解、第2学年では社会参画、第3学年では公の精神等に配慮した教材の選定と配列を行い、小～高までの連携を意識した構成にするなど配慮されている 	<ul style="list-style-type: none"> 第1学年教科書の巻頭に「新しい扉を開く」というコーナーを設け、中学生になり、これから自分の生きているように考えていくことができるよう配慮されている 	<ul style="list-style-type: none"> 第1学年教科書の巻頭に「自分を見つめよう」というコーナーを設け、自分を見つめ、新たな生活に目標等を考えることができるよう配慮されている 	<ul style="list-style-type: none"> 第1学年教科書の巻頭に「今日からはじまる」という明るい内容の詩を掲載し、中学校に進学し、新たな生活に對して新たな希望をもてるよう配慮されている
本市生徒の学習の状況等	<p>○ 道徳的価値を多面的・多角的に考えるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 道徳的な問題の解決に向けて話し合うことができる教材が配置されている 各教材に生徒が考えたことを書き込む『つばやき』コーナーが設定されている 	<ul style="list-style-type: none"> 道徳的な問題の解決に向けて話し合うことができる教材が配置されている 異なる立場からの考えや意見を取り入れた教材が配置されている 	<ul style="list-style-type: none"> 道徳的な問題を解決するためにどうすればよいかを考える教材が配置されている 他の視点や立場から考える「見方を変えて」の発問が設定されている 	<ul style="list-style-type: none"> 考え議論し、ねらいに迫るための発問例「考えよう」が設定されている 各学年の別冊「道徳ノート」に、自分や友達の考えを記入する欄が設定されている 	<ul style="list-style-type: none"> 2つの教材を連続して掲載してユニット学習を構成されている 教材の内容項目に即した関連情報を提示する設定ページが設定されている 	<ul style="list-style-type: none"> 教材ごとに、多様な考えを引き出すための発問が掲載されている 各学年の別冊「道徳ノート」に、自分や友達の考えを記入する欄が設定されている 	<ul style="list-style-type: none"> 交流する視点「考え、話し合ってみようそして、深めよう」が設定されている 話のその後について考えさせる構成になっている教材が掲載されている
	<p>○ 自己を見つめ、人間としての生き方について考えを深めるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 道徳的価値を主体的に考えるためのテーマや発問「考えよう」が設定されている 自己を振り返るための発問「自分を見つめよう」が設定されている 	<ul style="list-style-type: none"> 教材ごとに学習過程と発問例のつながりのある「学びのしるべ」が設定されている 学んだことを記録する欄「授業の記録」が設定されている 	<ul style="list-style-type: none"> 教材ごとに道徳的価値について理解や自覚を深めるための主発問「考えよう」が掲載されている 学びのテーマにちよじて1年間が3つのシーズンに分けられている 	<ul style="list-style-type: none"> 教材ごとに学んだことを前向きに生かすための具体的な発問例が掲載されている 問題解決的な学習に適した教材には「学習の進め方」が設定されている 	<ul style="list-style-type: none"> 考えを深めるための4つの学習ステップ及び発問が教材毎に設定されている 名を遺した偉人などの生き方に触れる教材が配置されている 	<ul style="list-style-type: none"> 教材ごとに、考えを広げたり深めたりするための具体的な発問例が掲載されている 教材の最後に先人や著名人の名言が掲載されている 	<ul style="list-style-type: none"> 道徳的な問題の解決に向けた視点を示す発問例が掲載されている 身近な話題の読み物やデータ、物語等がコーナーが設定されている

発行者	2・東書	17・教出	38・光村	116・日文	224・学研	232・廣あかつき	233・日科
観点							
その他	○ 冊子の構成						
	・学年ごとに本冊のみで構成されている	・学年ごとに本冊のみで構成されている	・学年ごとに本冊のみで構成されている	・学年ごとに本冊と別冊で構成されている	・学年ごとに本冊のみで構成されている	・学年ごとに本冊と別冊で構成されている	・学年ごとに本冊のみで構成されている